

SPECIAL 特集 FEATURE

特定健診・特定保健指導の3年目を迎えるにあたって
生活習慣病対策の一環として得たものと見えてきたもの

3年目を迎える特定健診・特定保健指導 健康なまちづくりの観点から得たもの、見えてきたもの 中川昭生

【市町村の立場から】本気で元気！ 受診率65%への挑戦 国藤美紀子

【市町村の立場から】世代をこえて共に支えあっているまちづくり 松崎三十鈴

【市町村の立場から】合併を経て着実に進める地域活動 立木ひろみ／佐竹登志子／真壁知枝

【協会けんぽの立場から】事業所単位で継続性のある健康づくり 新垣清乃

【都道府県の立場から】県ならではの調整機能・支援機能を果たす 土屋厚子

【国保連合会の立場から】保健師の視点で積極的な疾病予防に結びつける 阿波友理

PHOTO & PICK UP 「まちづくり」の現場

サークルでサロンで、推進員とともに転倒無視体操の普及を

習志野市で展開されるヘルスプロモーション事業 江原朋枝／小川みゆき

調査報告 対面式と非対面式による特定保健指導のメリット・デメリット 西地令子・ほか

連載 保健師の仕事—コミュニティ・エンパワメントの援助技術(4) 大木幸子／後輩保健師に伝えたいこと(3)
川又協子／ニュースウォーク(145) 白井正夫／看護系大学・研究所からのメッセージ(64) 宮崎大学医学部看護学科

編集後記

●「事件は会議室で起きてるんじゃない！ 現場で起きてるんだ」というのは、映画『踊る大捜査線』で下っ端の一刑事が会議室にいる幹部たちに放った名セリフでした。今年はその映画の第3作目が公開されるとのことで、このシリーズのファンである私は楽しみにしています。ところで、この「現場で」というのは、すべての仕事に共通する大事な視点だと思います。編集の場合で言えば、企画の種は私たちのいる会議室ではなく、読者の方がいる現場にあります。その意味で、お送りいただく投稿論文や読者カードには、現場でのさまざまな思いが反映されているわけで、大事に読ませていただいています。多数のご応募をお待ちしています。(杉之尾)

●昨年末の事業仕分けで、女性の健康支援対策事業委託費(約5億円)が「政策目的は重要だが事業内容が理解しがたい」「地方では県も市も民間企業でも類似事業を実施している」などを理由として「廃止」との評価を受けました。「県も市も」といえば、乳幼児をもつ母親やメタボ対策での中高年など、保健師は女性の健康を支援しつづけています。●「保健師の不養生」にならぬよう、仕事が生んだと感じたとき、異論文のセルフケアの項目(p.200 参照)をご覧ください。保健師が活躍しすぎて、事業仕分けメンバーが「ほら、5億円廃止の判断正しかったでしょ」とにんまりするのはあまり見たくありません。(長谷川)

保健師ジャーナル 第66巻3号 2010年3月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2010年年間講読料(税込、送料弊社負担)15,000円、電子ジャーナル閲覧オプション付20,000円
発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600
保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当: 杉之尾、長谷川、伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

【JCOPY】<(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/10/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。